

## 平成 29 年度蜃気楼交流会 プログラム

平成 29 年 10 月 21 日(土) 特別講演会 (会場：魚津埋没林博物館ハイビジョンホール)

17:00 開会 日本蜃気楼協議会会長 木下 正博  
激励 富山県議会議員 稗苗 清吉

17:10～18:20

「人生がときめく！蜃気楼の魔法  
～ 北海道で”ミラー女”が見つけた新しい魅力と可能性～」  
講師：佐藤 トモ子 (日本蜃気楼協議会 北海道)

平成 29 年 10 月 22 日(日) 研究発表会 (会場：魚津埋没林博物館研修室)

8:30 受付

9:00 開会 魚津市教育長あいさつ 日本蜃気楼協議会会長あいさつ  
来賓あいさつ

9:15 研究発表会 (発表 1 件 20 分+質疑 5 分、計 25 分)

1. 2017 年冬季に北海道別海町で観測した上位蜃気楼とそれに伴う変形太陽  
大木 淳一 (千葉県立中央博物館)
2. 2016 年 12 月に千葉県九十九里海岸で観測した上位蜃気楼と定点カメラによる蜃気楼  
観測の展望  
大木 淳一 (千葉県立中央博物館)
3. 冬季の斜里における上位蜃気楼発生状況の調査  
石原 宙 (北見工業大学)

(休憩 10:30～10:45)

4. 幻氷との遭遇～知床沖に現れた白いまぼろしに春を感じて～  
星 弘之 (北海道・東北蜃気楼研究会)
5. 野付半島より見えた蜃気楼  
星 弘之 (北海道・東北蜃気楼研究会)
6. iWeb Mirage Simulator(自作)によるレマン湖蜃気楼の解析  
松井 一幸 (琵琶湖地域環境教育研究会)

(昼食・休憩 12:00～13:00)

7. 光線の逐次追跡をしない蜃気楼形状の計算  
長谷川 能三 (大阪市立科学館・中之島科学研究所)
8. GAS 等無料 WEB サービスを用いた観測記録と SNS への発信方法  
佐藤 トモ子 (日本蜃気楼協議会 北海道)
9. 『喜見城之図』に描かれた風景考  
石須 秀知 (魚津埋没林博物館)

14:15 追加質疑等

14:30 閉会

※ 発表順序、タイトル等は変更になる場合があります。

※ 当日の時間中に蜃気楼が発生した場合は、観測会に変更し、発表できなかったものについては後日発行する記録誌での誌上発表とします。